

I 調査の概要

1. 調査の目的

児童、生徒及び幼児の発育状態及び健康状態を明らかにし、学校保健行政上の基礎資料を得ることを目的とする。

2. 調査の根拠

統計法（昭和22年法律第18号）及び学校保健統計調査規則（昭和27年文部省令第5号）による。

3. 調査の範囲・対象

(1) 調査の範囲

調査の範囲は、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校及び幼稚園のうち、文部科学大臣があらかじめ指定する学校（以下「調査実施校」という。）とした。

(2) 調査の対象

調査の対象は、調査実施校に在籍する満5歳から17歳（平成17年4月1日現在）までの児童、生徒及び幼児の一部である。

(3) 対象校

① 発育状態	幼稚園	35園	1,540人	小学校	60校	5,760人
	中学校	40校	4,800人	高等学校（男）	30校	1,350人
				高等学校（女）	30校	1,350人
② 健康状態	幼稚園	35園	70学級	小学校	60校	360学級
	中学校	40校	240学級	高等学校（男）	30校	90学級
				高等学校（女）	30校	90学級

※中学校には中等教育学校の前期課程を、高等学校には中等教育学校の後期課程をそれぞれ含む。（以下同じ。）

4. 調査事項

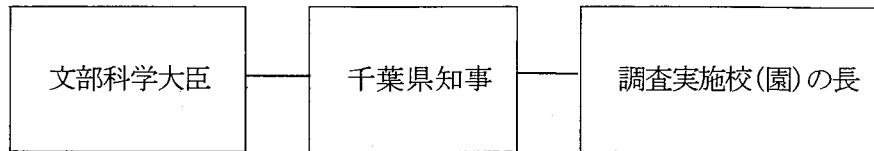
(1) 児童、生徒及び幼児の発育状態（身長、体重及び座高）

(2) 児童、生徒及び幼児の健康状態（栄養状態、脊柱・胸郭の疾病・異常の有無、裸眼視力、色覚、聴力、眼の疾病・異常の有無、耳鼻咽喉疾患・皮膚疾患の有無、歯・口腔の疾病・異常の有無、結核の有無、心臓の疾病・異常の有無、尿、寄生虫卵の有無、その他の疾病・異常の有無及び結核に関する検診における要精密検査者）

5. 調査の時期

調査は、学校保健法による健康診断の結果に基づき、平成17年4月1日から6月30日の間に実施した。

6. 調査系統



7. 利用上の注意

(1) 統計表の符号の用法は、次のとおりである。

「 — 」 —— 該当者がいない場合

「0.00」 —— 計数が単位未満の場合

「 … 」 —— 調査対象とならなかった場合

(2) 平均値は、小数第2位を四捨五入した。

また、比率算出については、小数第3位を四捨五入した。

(3) 健康状態調査結果の千葉県分については、サンプル数が少なく調査精度に問題があるため、平成15年度より全国値のみの公表となっている。

(4) この結果報告書の数値は、後日文部科学大臣が公表する数値をもって確定値となる。